

272 号

2 月例会のお知らせ

日 時 : 2 月 25 日 (土) 19:30~21:30  
 場 所 : 府中町屋倶楽部  
 内 容 : チェロ独奏会

演奏者 奥山悦男氏 (武生ルネサンス会員)

奥山さんは定年退職後ご両親が住んでおられる越前市三ツ俣町にご夫婦で引っ越されて、農業に従事しておられます。高校、大学時代に学生オーケストラでチェロを弾き、社会人になって40年のブランクがあったものの、越前市に住まいするようになられてからチェロを買って弾き始め、現在は越前町の弦楽アンサンブルでチェロを担当なさっておられるそうです。

■立春が過ぎたというのに、毎日寒いですね。立春を迎えると一日一日暖かい春に向かうような気がしますが、さにあらず。一年中で最も寒い時期は、1月下旬から2月の中旬らしいです。そういえば札幌の雪まつりは2月5日から、旭川の冬まつりも6日から始まりました。2月中旬ごろに大雪ということも過去の経験から十分あり得ますし、この頃に降る雪は重く、木々の枝を折ってしまうことも生じます。

■先月の例会は総会にもかかわらず、寒い時期でもあり、出席人数は少なかったのですが、会計報告をして、今年の行事計画を立てました。

武生ルネサンス平成 29 年行事計画

- 1 月 28 日 (土) 総会
- 2 月 25 日 (土) チェロ独奏会 (奥山悦男氏)
- 3 月 19 日 (日) 茶会 (炉)
- 4 月 9 日 (日) 花見 (武周が池)
- 5 月 27 日 (土) 湖南三山めぐり (バス旅行)
- 6 月 24 日 (土) 「ポルトガル宣教師が聞いた福井弁」(井上清一氏)
- 7 月 29 日 (土) 「社会学者の見た現在の越前市」(ウイットビン氏)
- 8 月 休み
- 9 月 未定
- 10 月 28 日 絵暦紹介 (里の草花)

11 月 23 日 絵暦ケース組立作業

12 月 23 日 笑年会

■さて今月は上に書きましたように、チェロを楽しむ会です。奥山さんは、気楽な演奏で、早春賦、花、里の秋、冬の夜、雪の降る街を、椰子の実、浜辺の歌、川の流れのように、津軽海峡冬景色、いい日旅立ち、いつでも夢を、竹田の子守歌、鉄腕アトム、さいたら節、ゴンドラの唄など、私達に親しい曲をトークを交えながら聴かせて下さいます。

■宮沢賢治の『セロ弾きのゴーシュ』を思い出しやすい夜になりそうです。

「町はずれの川ばたにある壊れた水車小屋で一人住んでいたゴーシュは、町の活動写真館の楽団でセロ (チェロ) を担当していて、近々行われる音楽会の為に練習をしていました。ところがゴーシュは、セロがうまく弾けず、練習のたびに楽長に叱責されるばかりです。夜小屋で練習していると、夜ごとに三毛猫、郭公、狸の子、野鼠の親子が現れ、色々な理由を付けてゴーシュに演奏を頼みます。ゴーシュはそういう動物たちの依頼をうるさがりながらも経験を積み重ね、本番で大成功を収めることとなります。」奥山さんは稲刈り後の田んぼでチェロを弾きたいと思っておられるとか。